



道の駅おおうち 「は～とぽ～と大内 ぽぽろっこ」

石井 玄
(ぽぽろっこ 副支配人)

【立地環境】

道の駅おおうち「は～とぽ～と大内 ぽぽろっこ」は平成12年4月に旧大内町の国道105号線沿いに設立されました。イタリア語で「人々」という意味の「ポポロ」に秋田弁の「っこ」をつけて人々が集まる憩いの場になるよう願いが込められています。

JR羽後岩谷駅と連絡通路「ぽぽロード」で繋がっており、「道の駅」と「JRの駅」を兼ねたダブルステーションに宿泊施設を備えた全国的にも珍しい道の駅です。平成17年には1市7町が合併し由利本荘市となり、その後、近隣

に由利本荘市総合体育館、あきた総合家畜市場などが設立され、大内地域の中核エリアとなっております。また、平成19年に日本海沿岸高速道路が開通したことでアクセスがより向上し、秋田市方面や大仙市方面への旅の中継地点、サービスエリア的な役割も果たしています。

【施設紹介】

道の駅おおうちエリアには温泉宿泊施設「ぽぽろっこ」をはじめとして、広大な敷地に様々な施設があります。

○温泉宿泊施設「ぽぽろっこ」

和室が12室、洋室が9室あり、最大で70名



(ぽぽろっこ 正面)

様のご宿泊が可能です。旅行の方はもちろん、すぐそばに由利本荘市総合体育館とあきた総合家畜市場があることから、スポーツ大会終了後に温泉で汗を流したり、遠方から秋田牛の買い付けでお泊まりいただいたりと、県内外の多くのお客様からご愛顧いただいております。ほかにも、宴会場、レストラン、農産物直売所、グラウンドゴルフ場などがあります。

○温泉「楠の湯」

「ぼぼろっこ」内にある温泉「楠の湯」は、長年地域の皆様に愛されてきた温泉保養施設「楠山荘」のお湯を受け継いでおり、地域の皆様のみならず、湯治で宿泊されるお客様、ドライブの休憩にひとつ風呂というお客様にもご利用いただいております。「体の芯からポカポカ温まる」と大変好評です。日帰り入浴もお楽しみいただけます。



(楠の湯)

○農産物直売所「ひまわり」

地元農家の皆さんが丹精込めて育てた採れたて野菜が毎朝お店に並びます。午前のうちにはほとんどの商品が売り切れとなってしまうため、早めのご来店がおすすめです。そのほかにも、地元の名産品、大正14年創業の豆腐屋さんの「三角油揚げ」や、贈答用として人気の「きぬさや麺」なども販売しております。



(農産物直売所 ひまわり)



(三角油揚げ)



(きぬさや麺)

○レストラン「きぬさや」

お米と野菜は農産物直売所「ひまわり」から仕入れたものを使っています。一番人気のメニューは「大内とろろ飯」です。2膳分のとろろ飯を様々なトッピングでお楽しみいただけます。旬の素材を取り入れた月替わりメニューや月替わりパフェもご用意しております。また、秋田由利牛のメニューも充実しております。ハンバーグ、牛すじカレー、牛串など、テイクアウトでもお楽しみいただけます。



(レストラン きぬさや)



(大内とろろ飯)

○売店コーナー

主にお土産を取り扱っております。きりたんぼセットやいぶりがっこなど秋田ならではの土産や地元のお酒も取りそろえております。



(売店コーナー)

○出羽伝承館

昔の農機具などの文化資料の展示や観光案内所のほか、図書の貸し出しも行っています。また、期間限定で芸術家の作品展示や絵本の朗読会なども開催されます。



(出羽伝承館)

○はーとぽーと館

お米や資材などの販売のほか、地域の業者さんが飲食店を出店しております。

道の駅おうち「はーとぽーと大内 ぽぽろっこ」は、宿泊、宴会、湯治や日帰り入浴、お食事に買い物など、様々な用途でご利用いただけるエリアとなっております。これからも、名前のとおり、人々が集い、笑顔でふれあい、くつろぎの時間をお過ごしいただけるような施設運営を心掛けてまいります。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

【道の駅おうち】概要

設置者	由利本荘市
運営主体	株式会社大内町交流センター
所在地	由利本荘市岩谷町字西越36
電話番号	0184-62-1126
路線名	国道105号線
登録年	2000年(平成12年)
主要設備・サービス概要	情報端末、公衆電話、無料休憩所、宿泊施設、温泉、食堂、軽食・喫茶、土産販売所、農産物直売所、自動販売機、多目的広場、交流広場、グラウンドゴルフ場
駐車場	普通車246台 大型車8台 障害者用1台
営業時間	・物産コーナー 9:00～17:00 ・レストラン 11:15～20:30 (ラストオーダー 20:00) ・温泉保養施設 9:00～21:00 ・交流広場 24時間 ・多目的広場 9:00～21:00
休館日	毎年9月第1月・火曜日：メンテナンス休館